

## 令和7年12月議会定例会 行政報告

総務課

## 笹川洸志氏の旭日小綬章受章について

地方自治の発展向上に多大な貢献をされた、前町長 笹川洸志氏に対し、11月5日旭日小綬章の勲章が北海道知事から伝達され、勲記につきましては、12月9日に私から伝達いたしました。

笹川氏は、昭和58年5月議会議員に当選され、以来平成20年7月までの間、連続7期25年3ヶ月余の永きにわたり在職され、その間、平成7年5月から平成11年4月まで議会議長として、議会の円滑な運営に尽力するとともに遠別町の地方自治の発展向上に寄与されました。

また、平成24年10月、地域住民の熱い期待と支援に押され遠別町長に当選、以来3期12年の永きにわたり在職され、基幹産業である第1次産業の育成強化、福祉の推進、教育の振興等各分野の振興と地方自治発展のため多大な貢献をされました。

これらの功績に対し、遠別町功労表彰はもとより、北海道社会貢献賞など数多くの表彰を受賞されております。

笹川氏の功績に対し、令和7年秋の叙勲を上申しましたところ、去る10月17日の閣議にて、旭日小綬章の受章が決定されました。

この度の受章は、本人・ご家族はもとより遠別町にとりましても名誉であり、大変喜ばしい限りであります。

心からお祝い申し上げます。

以上、叙勲の受章について報告させていただきます。

## まちづくり推進課

## 新しい特産品の開発・販売について

現在、新しい特産品の開発に向け、取組みを進めているところですが、今後の販売開始の予定と報告をさせていただきます。

はじめに、3月に行政報告いたしました北吹雪ですが、令和8年1月末で製造元からの出荷が終了され、新商品として遠別産のしそを用い「しそ梅酒」を令和8年3月19日より販売開始予定であると、高砂酒造株式会社より連絡がありました。

今回の新商品は、風味と香りのバランスがよく多様な飲み方ができるものになっております。

次にヤマト運輸株式会社との包括連携協定による観光支援や產品の販路拡大に関する取り組みとして、12月5日販売開始されました「切り餅」は、遠別農業高等学校産のもち米を用いた商品です。

また、11月14日に販売開始された「たこキムチ」は、遠別漁業協同組合より出荷しているミズたこを用いた商品で既に製造販売されている商品を、遠別町産たこを用いていることを前面にだし、特産品としてリニューアルされたものです。

さらに、遠別産のもち米粉を用いた「スイーツ」を12月中旬より販売開始予定で、チーズケーキ、ショコラケーキ、シフォンケーキ、パウンドケーキの4種類になります。

いずれも、当面は道の駅「えんべつ富士見」での販売に加え、ふるさと納税の返礼品としても受付を行っています。

今後も新しい特産品の開発に取り組んでいきますので、ご報告いたします。

## 令和7年12月議会定例会 行政報告

農林水産課

## 令和7年度第一次産業の生産状況について

最初に農業関係についてご報告をいたします。

「水稻」については、収穫・調製も既に終了し、全量1等米で出荷数量は45,096俵で、反当収量は9.9俵と前年比0.4俵減少しております。

また、価格につきましては昨年より10,000円高い、1俵当たり25,000円が生産者へ仮払いされるとの報告を受けております。

「畑作・野菜」については、秋まき春まき小麦を中心に収穫時期は天候に恵まれたものの、春先の長雨等の影響もあり、収量・販売額ともに減少との報告を受けております。

また、ビートについては、播種時期の降雨の影響もあり播種作業が遅れたものの、その後天候は回復したが収量、糖度ともに平年よりやや低いとの事です。

南瓜・馬鈴薯に関して、収量は減少しておりますが、その他、ハウス野菜、露地野菜については収量、価格、共に前年並みとの報告を受けております。

「酪農・畜産」については、長雨の影響により1番草の収穫が遅れ、適期収穫には至らず、2番・3番草についても晴天が続かず、収穫作業が遅れましたが、収量は平年並みと伺っております。

生乳生産につきまして、生産量は前年対比95%の10,700トンの見込みと伺っております。乳価については前年よりキロ当り6円上昇しているものの、畜産関係については、燃料費や飼料費の高騰及び個体販売単価の下落により、依然収支は厳しい状況にあると伺っております。

農業総生産見込み額は、約32億円で、前年対比112%との報告を受けております。

次に「林業」についてですが、依然として物価高騰の影響が続き、住宅着工も低調で推移していることから、製材用原木の買入れは抑制傾向にあり、紙・パルプ向け原料につきましても、業界全体で買入れが制限されている状況にあると伺っております。

こうした実態ではありますが、間伐事業等により生産された原木につきましては、全量販売できており、年間の取り扱い計画の9,000万円は達成できる見通しであると伺っております。

森林整備事業につきましては、間伐材の販売先を確保しつつ事業を進めており、造林事業についても、必要な苗木が確保され、前年を上回る約35ヘクタールの整備を進めることができている状況であります。

続きまして、「水産業」についてご報告をいたします。

現在の水揚げの状況については、主力でありますホタテ養殖漁業である、稚貝の出荷については採苗不振の影響もあり、前年数量対比 90.6% であります。輸出向けホタテ成貝については前年数量対比 120.6% であります。昨年度より高単価で推移したことから、ホタテ養殖全体の販売額は前年並みと伺っております。

また、タコ函漁については前年数量対比 85.8% となっており、前年平均単価 878 円に対し本年の平均単価が 834 円となっており、金額対比では 81.6% になると伺っております。

本年の総水揚見込み額は、現段階で昨年を上回る約 19 億円となっており、ホタテ成貝の高単価によるものが主な要因との報告を受けております。

また、冷凍加工事業について現在までの販売高は 2 億 9,317 万円となっており、主力となっている鮮蛸は取扱いが減少し、秋鮭についても不漁だったため、大変厳しい状況であると報告を受けております。

以上、第一次産業の生産状況についてご報告いたします。

## 令和7年12月議会定例会 行政報告

建設課

## 令和7年度工事等の発注状況について

本年度の建設課所管各種工事と委託業務の11月末現在の発注状況についてご報告いたします。

工事及び委託業務の発注状況は、発注件数において工事が27件、委託業務が23件の併せて50件となり、発注率は100%であります。

発注額で申し上げますと、工事が3億5,270万円、除排雪業務などを含めた委託業務が2億590万円の合計5億5,860万円となっております。

また、近年続く資材価格をはじめとする物価の高騰や技能労働者（職人）不足は、契約履行に大きな影響を及ぼす要因となっていることから、発注済みの工事等においては進捗管理の徹底と契約履行の適正化を図り円滑かつ着実な事業執行に努めてまいります。

## 令和7年12月議会定例会 行政報告

## 診療所

## 遠別町国民健康保険診療所の入院業務について

遠別町国民健康保険診療所の入院業務について、ご報告いたします。

当診療所では、これまで常勤看護師に加え、必要に応じて派遣看護師を配置することで、入院業務の維持に努めてまいりました。しかしながら、このたび、複数の派遣会社に対し看護師の派遣を依頼していたものの、応募者が少なく、必要な人員の確保が困難な状況となっています。

このため、安全で適切な看護体制を維持することができないと判断し、やむを得ず、令和7年12月15日から当面の間、新規の入院患者の受け入れを停止することといたしました。

なお、既に入院中の患者様につきましては、安全な看護体制を確保しながら、引き続き、入院診療を継続してまいります。

今後につきましては、外来診療をこれまでどおり継続するとともに、入院医療を必要とする方につきましては、近隣医療機関へ紹介し、地域の医療提供体制に支障を生じさせないよう努めてまいります。

また、引き続き派遣会社への依頼を行うほか、常勤・非常勤を問わない幅広い募集の継続や勤務条件の見直しなどにより、入院業務再開に向けて人材確保に努めてまいります。